

演題：「子どもの貧困・虐待・性のリアル
～子どもの SOS が聞こえていますか～」

講師：ジャーナリスト・九州女子短期大学特別客員教授
秋山 千佳 先生



略歴：

1980 年生まれ。2004 年、早稲田大学政治経済学部卒業、朝日新聞社に入社。記者として
大津、広島の両総局を経て、大阪社会部、東京社会部で事件や教育などを担当。2013 年に
退社し、フリージャーナリストに。九州女子短期大学特別客員教授。

著書：

『実像 広島「ばっちゃん」中本忠子の真実』（KADOKAWA、10 月下旬発売）
『ルポ保健室 子どもの貧困・虐待・性のリアル』（朝日新書）
『戸籍のない日本人』（双葉新書）

最新の記事や活動につきましては、公式サイト（akiyamachika.com）をご確認ください。

講演に関連するヤフーニュース特集の過去記事

・エナジードリンクを飲む子どもたちに起きている異変

<https://news.yahoo.co.jp/feature/815>

・大学の保健室：<http://news.yahoo.co.jp/feature/514>

・トラウマの回復（スクールセクハラを例に）：<https://news.yahoo.co.jp/feature/1028>

また、雑誌『季刊 Be!』で連載中の「依存の《入り口》に立つ子どもたち」では、主に高
校の保健室で出会った事例を取り上げています。

講師からのメッセージ：

保健室を取材させてもらうようになって9年になります。小中高校に大学と、保健室取材は現在に至るまでどんどん広がってきました。2016年の『ルポ保健室』発売後は、全国から講演にお招きいただくことでさらに多くの養護教諭の方々と出会うようになり、昨年度からは短大で養護教諭の養成課程にも携わっています。

そんな9年間で振り返って痛感するのは、保健室、養護教諭の重要性は時代を追うごとに増している、ということです。

”なぜ”という点は当日お話ししますが、私はこの重要性を広く知ってもらうことが子どもの利益につながると考え、様々な機会に訴えてきました。養護教諭が子どもを心身ともに支える日本独自の職種であることから、記事を7カ国・地域語で掲載してくれた媒体もあります (<https://www.nippon.com/ja/currents/d00396/?pnum=2>)。

講演では、これまでの保健室取材から見えてきた子どもの困難やその対応について、事例を交えながらお話ししていきます。養護教諭の方々にはご自身のお仕事を振り返っていただく機会に、また学校で子どもの成長を支えるお立場にある皆さまには、子どもの発するSOSを共有する多職種連携を考えていただく一助となることを願います。